

I 目指す姿

1 スクールミッション

高度な知識と幅広い教養を培う県立中等教育学校として、課題解決型学習等に取り組み、主体性や協調性、粘り強い心等を高める6年間の一体的な学習活動や体験活動等を通して、地域社会や国際社会を牽引するリーダーとして、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

2 求める児童像

- 高い志と知的好奇心を持ち、主体的に学ぼうとする児童。
- 思いやりの心を持ち、周りにいる「なかま」を大切にする児童。
- 社会の様々な問題に関心を持ち、解決への筋道を考えることができる児童。

3 育てたい生徒像

- 高い目標を持ち、その目標の実現に向けて主体的に取り組むことができる生徒。
- 協調性を備え、課題の解決や共通の目標達成に向けて協働できる生徒。
- 豊かな教養と品性を備え、持続可能な社会の構築に寄与するリーダーとして活躍できる生徒。

II 現状と課題

1 教育活動

6年一貫の中等教育学校として、生徒の自己実現を叶える丁寧な学習指導と進路指導及び特色ある教育課程は、地域のみならず全国からも注目を集めている。グローバル化が進む、変化の激しい社会を生き抜くため、生徒が新しいことに果敢に挑戦し、成功から得られる自信や失敗から立ち直る逞しさを身につけられるよう、校内外における探究的・体験的な学びを支援する役割が求められる。

2 学校運営

教職員それぞれの個性や専門性、得意分野が十全に発揮されるとともに、教科、学年、分掌において、互いに補助・補完しながら、協働して業務を遂行できる学校とする。管理職・ベテラン・中堅・若手が、分け隔てなくコミュニケーションをとることができる支持的職場風土を醸成し、教職員一人一人のやりがいと学校全体の組織力がともに高まるような「チーム大安寺」をつくる。

III 指導方針

1 学びの内容・方法

- 6年一貫のカリキュラムにより学習内容を系統立てて実施し、確かな学力の定着を図る。
- 総合的な学習・探究の時間と各教科の連関を大切に、社会における課題解決を体験しながら、探究的・協働的な学習を進める。
- 様々な行事を学年を越えて行うことにより、横のつながりに加えて縦のつながりの中で、お互いに思いやりを高め合う精神を養う。
- 海外研修をはじめとする異文化理解の学習活動を通じて、グローバルな視点をもった人材の育成を図る。
- ICT機器等を活用し、学校と家庭双方における学びの継続性を大切に学習計画を進める。

2 教育活動の構成

基礎期 本校6年間の学校生活の基礎を確立する。(1、2年)

◇基本的な生活習慣と家庭学習習慣の確立

◇学ぶ楽しさの連続的な体験

充実期 多様な生き方にふれ、自身の将来像を描く。(3、4年)

◇幅広い体験を通じた視野の拡大と俯瞰する力の獲得

◇専門性の高い学習内容への興味・関心の喚起

発展期 活用力、応用力を高め、自己実現を図る。(5、6年)

◇社会貢献への意欲とリーダーとしての資質・能力の伸長

◇学問・学修につながる確かな学力の養成

IV 中長期的な目標

本校は、特に近年の進学実績が注目され、入学者選抜を経た優秀な生徒が、県内広い地域から通学している。多くは意欲的に学習や諸活動に取り組み、自己の成長を実感することができているが、中には高い能力を持っているにもかかわらず、謙虚過ぎたり自信に乏しかったりする生徒もいる。入学した全ての生徒が、自らの適性や潜在的な能力に気づき、様々な場面でそれが主体的に発揮できるよう、教職員は伴走者となって仕掛けと支援を行う必要がある。生徒が学びの主体として、校内外の多様なフィールドで、自ら考え行動する自己決定の場をできるだけ多く創出していく。そのため、本校が大切にしてきた「師弟同行」の理念を継承しつつ、これまで行ってきた教育活動を「教養教育 (Culture Education)」、「生き方教育 (Career Education)」、「市民性教育 (Citizenship Education)」(3C教育)の視点で捉え直し、体系的な指導を展開する。

V 本年度の重点目標

【教養教育 (Culture Education)】

○生徒の教養と品格、自尊感情を育てる。

【生き方教育 (Career Education)】

○生徒の自立と社会参画への意欲、自己開拓の精神を育てる。

【市民性教育 (Citizenship Education)】

○生徒の公共性と協働性、民主的態度を育てる。

【DXハイスクール (高等学校DX加速化推進事業)】

○デジタルやAIを活用した文理横断的・探究的な学び、実践的・体験的な学びを充実させる。

【自立応援室】

○「こころんルーム」の開設により、欠席がちな生徒の学校(教室)への復帰を支援する。